

平成 29 年 10 月 5 日

和歌山県有田川町
株式会社自遊人

報道関係各位

株式会社自遊人と包括連携協定を締結 ～ 豊かな地域資源を活かした取り組みを進めます ～

和歌山県有田川町（町長：中山正隆）と株式会社自遊人（代表取締役：岩佐十良、以下「自遊人」）は、相互の連携を強化し、有田川に育まれた大自然とこの地域が生み出す豊かな資源を活かした取り組みを進めるため、本日付で「連携と協力に関する包括協定（包括連携協定）」を締結しました。

この締結のため有田川町入りした自遊人／岩佐代表は、本日午後、役場町長室を訪れ、有田川町の現状と今後の展望について中山町長と意見交換をした後、協定書にサインを交わしました。



1. 背景

有田川町では、地域交流センターALECを中心とした絵本によるまちづくりや、住民・民間事業者との協働による旧田殿保育所のリノベーション事業、アメリカ・ポートランドとの協働による住民主体のまちづくりなど、いわゆる地方創生に関する取り組みを進めています。また、地球に優しいエコのまちを目指し、二川ダムを利用した小水力発電所など再生可能エネルギーの導入にも積極的に取り組んでいます。

一方、当町の主産業である農業分野では後継者不足の問題が依然としてあり、山間地域における過疎化・高齢化も歯止めがきかない状況にあります。このため、地方における食をはじめとする観光面や農産物のブランディング、遊休施設の利活用提案を得意とする自遊人と連携することにより、有田川町全体の地域活性化を目指します。

2. 連携事項

以下の事項について、今後具体的に課題を抽出し、課題解決・地域活性化に向けて連携を進めていきます。

- （１）農林産物及び加工品、地域製品のブランディングに関すること
- （２）遊休施設の利活用に関すること

- (3) 有田川流域の農業及び食文化の追究、継承に関すること
- (4) 農林水産業の活性化に関すること
- (5) 地域の魅力発信による地域経済の活性化に関すること

3. 今後の展開について

今後、両者間の連携を深めながら、まずは山村地域での暮らしや地域が生み出す農産物や食について焦点を当て、地域活性化に向け共に取り組みを進めてまいります。

<本件に関するお問い合わせ>

●有田川町役場 総務政策部

企画財政課 班長 白川 晶也

〃 主任 高垣 昌弥

和歌山県有田郡有田川町下津野2018-4

TEL 0737-52-2111 (代表)

FAX 0737-52-3210

[発信元]

有田川町役場企画財政課 白川

0737-52-2111 (代表)

shirakawa.m@town.aridagawa.lg.jp